

# 中村誠名伯楽・喜寿の祝

マコちゃんズ主催・メンバー、教え子が集い祝福

「マコちゃんズ」ニュース



創部  
2009年5月  
監督  
中村 誠  
部員数 49名  
rsh.25919 @  
nifty.com

## 想い出話・苦労話で大輪の花

中村誠先生の喜寿をお祝いする会が十一月三十日に開催されました。「マコちゃんズ」のメンバーや教え子五十五名が出席、あらためて感謝の意を込めた「お祝いの会」は和やかな雰囲気の中、中村先生が監督に就任した昭和三十四年から五十五年に亘る指導者人生での悪童相手の苦労話など、興味深い話は名伯楽をあらためて認識させるに充分でしたが、時間の制限の有る中では語りきれるものではありません。

次回、「米寿のお祝いをする会」での続きをお楽しみに。

世有「伯楽」、然後有「千里馬」  
千里馬常有、而伯楽不「常有」



## 高橋宏氏（三十期）の司会で進行

受け付けを済ませテーブルへ。ゆったりとした明るい会場で、開会を待つ間に早くも昔話に花が咲く。

司会者、高橋宏氏の案内で、和田五朗選手（二十五期）が「中村誠先生喜寿のお祝い」の開会挨拶。恩師を囲んでの宴会の幕開け。

乾杯の音頭は「マコちゃんズ」選手最長老十一期・渡邊誠選手に依頼していましたが残念ながら腰痛のため欠席となり、十七期

小松昭夫選手が乾杯の挨拶。ご存じコマツ君当人は受けを狙っているわけでも冗談を言うつもりでも無いのだが大いに受ける。ここで会場は一気にくだけ、和やかになる。さすが長年教鞭を執ってきただけの事はある。〈が〉妙におかしさだけが印象に残っていて、その内容を覚えてないのは何故？



ここでアルコールタイム・しばらくの歓談は、やはり昔話・あの頃の話が、このテーブルでも、あちらのグループでも……

壇上でのお祝いの挨拶は中村先生との逸話、想い出話そんな話に耳を傾けながら、時代世代に差はあってもみな同じく叱られしごかれた仲間であり、その経験は、「(境遇)相哀れむ」の感！十六期〜三十七期が参加したお祝いの会、それぞれの期の現役時代の話は、久我山ラグビーの歴史を辿れるちょっとした時間旅行の趣。

## 乾杯の音頭は 小松昭夫選手（17期）



小松教諭の  
教え子は  
読解力や  
集中力が  
鍛えられた  
ことダロウ

今回「マコちゃんズ」のメンバーと一緒に参加したOB達との世代を越えた付き合いが始まり、新しい想い出が重ねられる。過去に訪ねるだけでは無く未来に向けた想い出づくりを楽しむのもラグビーを通して先生のおかげとしみじみ思いつつ又、又、一杯……



今回、全国大会を逃した事は残念な事でしたがその翌年は大きな事を成し遂げている結果がある。来年の優勝を信じ、OBとして最大限の後押しをと、出席者をお願いする 和田哲<sup>(あきら)</sup>OB会長

## 記念品謹呈は伊佐光市選手（十七期）

宴もたけなわ、我々教え子共が中村先生に感謝の意を心から込めての記念品謹呈役は、歴代屈指の問題児と言われた十七期伊佐光市選手、お祝いの挨拶は懐かしい御殿場青年の家の思い出から、一年時の合宿の話に掛かった処で先程からムズムズしていた中村誠御大やおらマイクを手にして、変わりに当時の様子を語り始めた。

「コイツハネ・・・」

「ご存じ！伊佐選手一年時の合宿逃走記の一席・・・」

頃は昭和の春合宿・三十六計逃げるにしかず・脱出計る伊佐選手・逃してなるかと中村監督・家に駆けつけその部屋見るも灰皿以外はもぬけの殻・母親共々捜査に当たり・なんと母親訪ぬる先は・縄の暖簾や赤提灯・しらみつぶしで数件目・焼鳥「とんちゃん」ガラス越し・見覚えのある人影が・引き戸を開けてその先見れば弓手に杯、馬手に串・やきとり串をおもむろに・横真一文字口元へ

その後の光景は恐ろしく記すことはとても出来ないが  
読者想像の通りである。

大なり小なり高校生活では皆、中村誠先生に迷惑をかけたお世話になりその御恩は返しきれぬものではありませぬ伊佐選手には皆を代表して再度叱られていただき、皆を代表してお祝い・御礼をして頂きました。

世有<sup>二</sup>伯楽<sup>一</sup>、然後有<sup>二</sup>千里馬<sup>一</sup>

千里馬常有、而伯楽不<sup>二</sup>常有<sup>一</sup>、

世<sup>二</sup>伯楽有<sup>一</sup>、然ル後千里ノ馬有<sup>リ</sup>

千里ノ馬ハ常ニ有<sup>レ</sup>ドモ、伯楽ハ常ニハ有<sup>ラ</sup>ズ

世の中に馬を見る名人の伯楽があればこそ、それに発見され千里の名馬が出て来る。千里を走る馬はいかなる世にもいるがこれを認める伯楽は常に居るとは限らない（漢文公「雑説下」）

認める人がいなければ異才秀才も決して世には出てこない我が久我山にも千里の名馬が数多く輩出されたが、これは中村誠という名伯楽がいたからである。鬼の様な伯楽だが

その熱き心が全国制覇五度の強豪校を作り上げたのである。名馬・駄馬、同じ扱いで育て一丸となって闘う事を学ばせ基本の繰り返し、努力努力の積み重ね、継続は力也を学せいかなる駄馬も「無事は名馬」にして世に送り出す。先生のおかげで退学を免れた部員は筆者も含め、多数いたと聞く「喜寿のお祝い」のこの席で、中村誠先生の生徒に対する熱き心に、改めて深く感謝致します。



# 鬼の目にも涙・・・? 参加メンバーを期ごとに紹介

お祝いに駆けつけた十六期〜三十七期の時代の戦歴等を中村先生にお願いして紹介して頂くことにしました。先ず十六期が壇上へ。期ごとの紹介と考えていましたが三十七期まで全員、ひとり一人、エピソードを交えながら紹介。教え子の数は相当でしょう。その全員を覚えていて(数名、壇上で想い出さなかった部員の事も席に戻ってアア!あいつか!と想いだされていた)

そんな中村先生、壇上から「おまえら俺より先に往くなよ」教え子が先にいってしまうことの悲しさ、寂しさ、悔しさを伝える言葉が潤んでいたのは間違いありません。



21期 念願の全国大会初出場



23期 全国大会常連校への布石・ベスト8進出



↑27期 全国大会初優勝  
國學院久我山 25 - 9 目黒

↓30期 全国大会2度目の優勝  
國學院久我山 40 - 6 黒沢尻



↑29期 負け知らずのチームだったが連続出場成らず「全国大会を見過ぎた油断があったと思う」 (中村・談)

↓31期 決勝で目黒に16-14で惜敗も  
全国大会準優勝



34期 4年ぶり3度目の全国制覇 →  
國學院久我山 31 - 0 目黒

35期 全国大会ベスト8 →  
準々決勝で大分舞鶴に惜敗

37期 全国大会出場成らず →



# お開きの挨拶は

マコちゃんズ主将 今野 貴之選手（三十一期）

お祝いの席は時の経つのが早いもの、と決まっています。成程残り時間も僅か。久我山ラグビー部歌の生い立ちを二十三期小澤孝良選手が解説、二十四期川久保清志選手とのコンビがリードして部歌を斉唱（二人の意気の合わないところが御愛嬌も、これでこの代がベスト4までとどかなかった原因がわかった!?）

お開きの挨拶は「マコちゃんズ・主将」今野貴之選手。親子鷹の話は卒へのライバル心、オヤジとしてのプライドが垣間見え、おもしろい話でした。そして

久我山ラグビー部来年度の全国制覇を祈念し、主将音頭のもと、全員で盛大な三本締めを行い、目出度くお開き。次はもっと広い会場で、などと米寿のお祝いに思いを馳せ



中村誠先生から出席者に送られたネクタイ留め。早速着けて記念写真に納まっています。

「考えてみれば中村先生に指導を受け、こうしたお付き合いも五十年以上になるが、あの頃と何も変わってない。光陰矢のごとし、とはよく言ったものだ、これからの一年一日を大事にしよう。」  
またまた反省したところで、今回の報告も、お開きデス。

## 《中村誠先生喜寿のお祝い》出席者

(敬称略・各期あいうえお順)

- |   |                       |                 |        |
|---|-----------------------|-----------------|--------|
| 16期 井本・矢島                               | 17期 伊佐・伊東・榎本・小松・高橋(富) |                 |        |
| 18期 井上(正)・荻原・絹山・香坂・鈴木・西尾                |                       |                 |        |
| 21期 河西・高橋(敬)・高橋(義)                      | 22期 石川(謙)・和泉(裕)       | 23期 小澤・佐藤・深野・吉田 |        |
| 24期 川久保・西田・田代                           | 25期 石川(勝)和泉(智)和田(五)   | 26期 大沢          |        |
| 27期 遠藤・菊池・日下・田村・和田(哲)                   | 28期 砂村                | 29期 井上(賢)・中村(嘉) |        |
| 30期 勝海・金子・金坂・河村・斎藤・佐藤・北川・田中・高橋(宏)・野口・原田 |                       |                 |        |
| 31期 池田・荻窪・今野・美土路                        | 34期 相澤                | 35期 諫見          | 37期 田川 |

## マコちゃんズ創部6年目へ

現役・竹内監督への後押し・応援が今迄に増して必要な年です。

マコちゃんズ存在価値はココにあります。

6度目の全国制覇へむけて、メンバーの更なるご協力をお願い致します。

お問い合わせ・ご要望等スタッフ迄ご連絡ください。

チームスタッフ



17期 伊佐光市・伊東克典  
23期 深野敏雄

18期 井上 正・荻原光一  
25期 和田五朗 31期 今野貴之